



チャレンジ小国GO（小国高校生福祉教育推進事業）

小国高校生を対象に、福祉・ボランティア体験、ボランティア講習会・グループワーク等を通じて福祉・ボランティアの大切さを学び自発的に行動しようとする意識、ボランティアの楽しさ・深さを涵養^{かんよう}することを目的として事業を展開しています。体験したい活動を自分で選び、福祉施設の夏祭りボランティアや、ホームレス支援のボランティア活動等を行っています。

今回は手話学習会の様子をご紹介します。

※涵養（自然にしみこむように養成すること）



手話学習会

11月1日・8日の2日間、小国支援学校から講師をお招きし、手話学習会を開催しました。

一般市民の参加もあり、13名での学習会となり、自分の名前や日常生活などで使う手話を皆さん楽しく学ぶことが出来ました。

聴覚障がい者は、外見の特徴が無い^{ない}ため、なかなか障がいに気付いてもらえず、日常生活に支障があってもなかなか声をあげづらく悩むこともあるそうです。参加された方々は手話学習会を通して聴覚障がい者への理解を深められました。

福祉教育～高齢者疑似体験・りんどう荘訪問～

11月6日市原小学校4年生が高齢者疑似体験の福祉学習を行いました。疑似体験セットを使用し、歩いたり階段の上り下りの体験をしました。小学生の皆さんは楽しみながらも、「歩きにくい」「階段が怖い」などと高齢者の気持ちを感じとっていました。最後に担任の先生と振り返りをおこない、『体験中に補助をしてもらえることの大切さや嬉しさを感じられたので、自分でもできることがあったらやりたい』と、多くの児童が発表していました。

11月20日には、りんどう荘へ訪問し、利用者さんとの交流を行いました。レクリエーションへ参加し、職員のお手伝いを行い、歌と踊りを披露し利用者の皆さんはとても喜ばれていました。

短い時間でしたが、実際に高齢者の方と接することで、高齢者の方への理解や気持ちなどを学ぶことが出来ました。



疑似体験



りんどう荘訪問

一人暮らし高齢者への元気宅配事業 ふれあいバスハイク

事業目的

南小国町では70歳以上の1人暮らしの方が150名を超えております。社会参加の機会を提供し、地域住民とふれあうことで楽しみ・生きがいを実感していただき、安否確認や心身の状態確認などにつなげ、孤立化の予防、問題の早期発見、民生委員などの関係者との信頼関係を構築することを目的に事業を行っております。



【青の洞門】記念撮影



11月9〜10日に「ふれあいバスハイク」が開催され、「深耶馬溪」へ、紅葉見学に行きました。2日間とも見事な秋晴れの空が広がるバスハイク日和となり、木の葉は色づきとても素晴らしい景色を観賞することが出来ました。
 昼食の際には、「いつも一人で食べているから皆と食べるのが楽しい♪」などといったばい！」などの声が聞かれ、バスハイクを満喫していました。

里

組

地域福祉座談会

11月15日、里組の地域福祉座談会が開催されました。

初めに、『ひとちいき計画ネットワーク』の佐伯謙介氏より、認知症について、南小国町の福祉概況についての話があり、参加された方は熱心に話を聞かれていました。

次に、役場福祉課より介護予防についての話があり、その中で南小国町の数力所を取り組みが始まっている『いきいき100歳体操』を紹介し、実際に重りを手首、足首につけて体操を行いました。この体操によって、筋力とバランス能力を高めることが期待されます。

体操は毎日ではなく、週に1〜2回のペースで行うことで、効果があるといわれています。

これから『いきいき100歳体操』を始めようと考えている方は、お気軽にご相談下さい！！

お問い合わせ先
 南小国町社会福祉協議会
 TEL：0967-42-1501
 担当：佐藤 新一郎
 佐藤 圭太



いきいき100歳体操体験中